

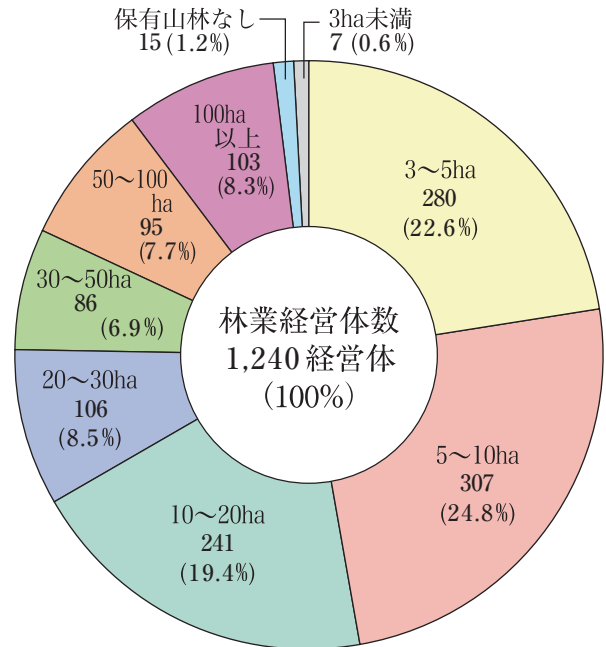
2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

本県の林業経営体数は、1,240経営体となっており、保有山林規模別では、10ha以下の経営体が総数の49%を占め、規模の小さな経営体が多い。

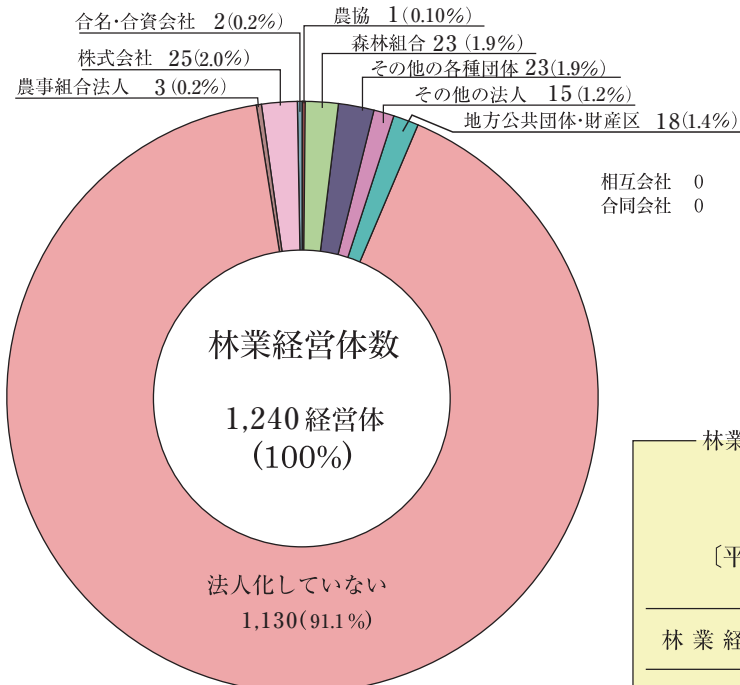
また、組織形態別では、法人化していない経営体が91%を占めている。

保有山林規模別林業経営体数



(2015年農林業サンセス)

組織形態別経営体数



(2015年農林業サンセス等)

林業経営体数

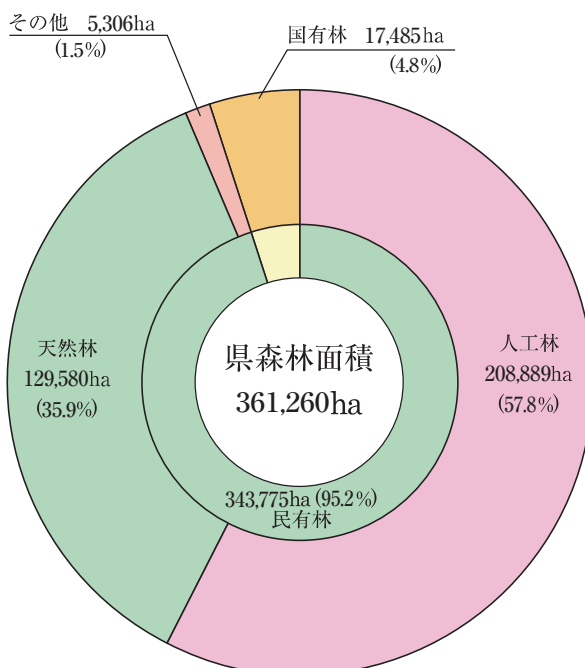
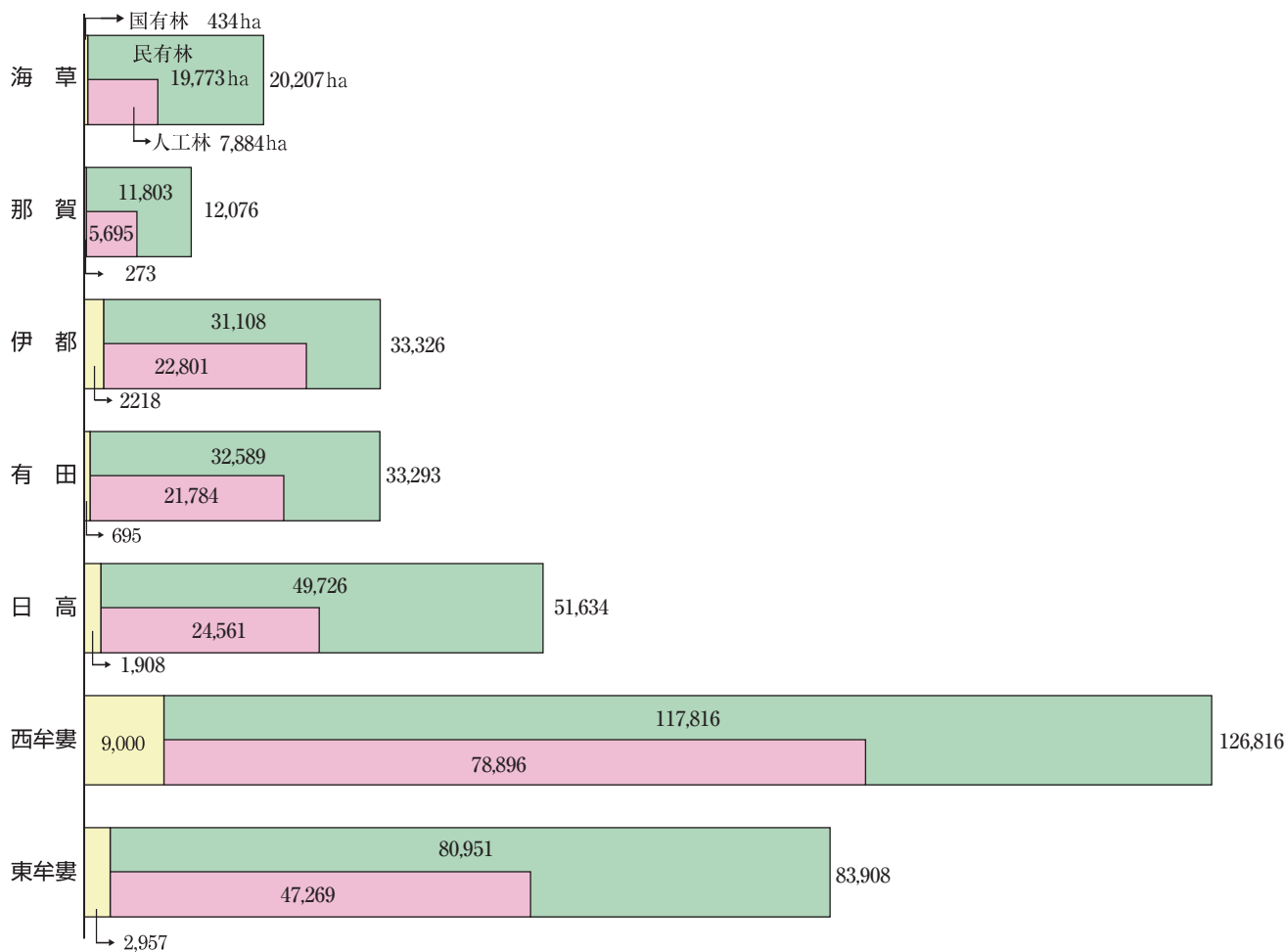
| 〔平27〕 | 全国 | 和歌山県 | | 1位 | 2位 | 3位 | |
|--------|--------|-------|----|--------|-----|----|----|
| | 実数 | 実数 | 順位 | シェア(%) | 県名 | 県名 | 県名 |
| 林業経営体数 | 87,284 | 1,240 | 33 | 1.4 | 北海道 | 岩手 | 岐阜 |

(2015年農林業サンセス)

2) 森林資源・林業生産基盤

地域別・森林面積（平30.4.1現在）

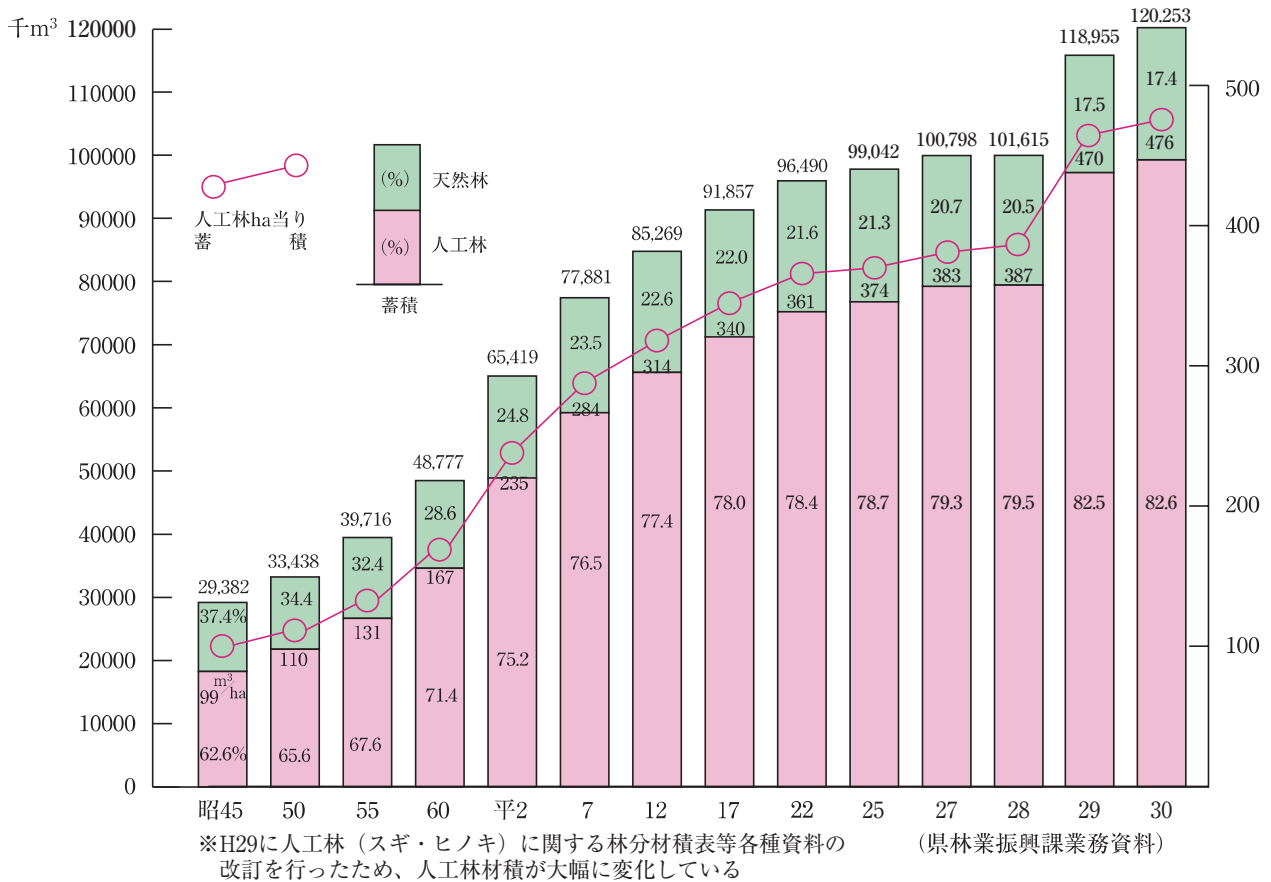
県の森林面積361,260haのうち、国有林は4.8%、民有林は95.2%です。県の森林面積の57.8%が人工林です。



(県林業振興課業務資料)

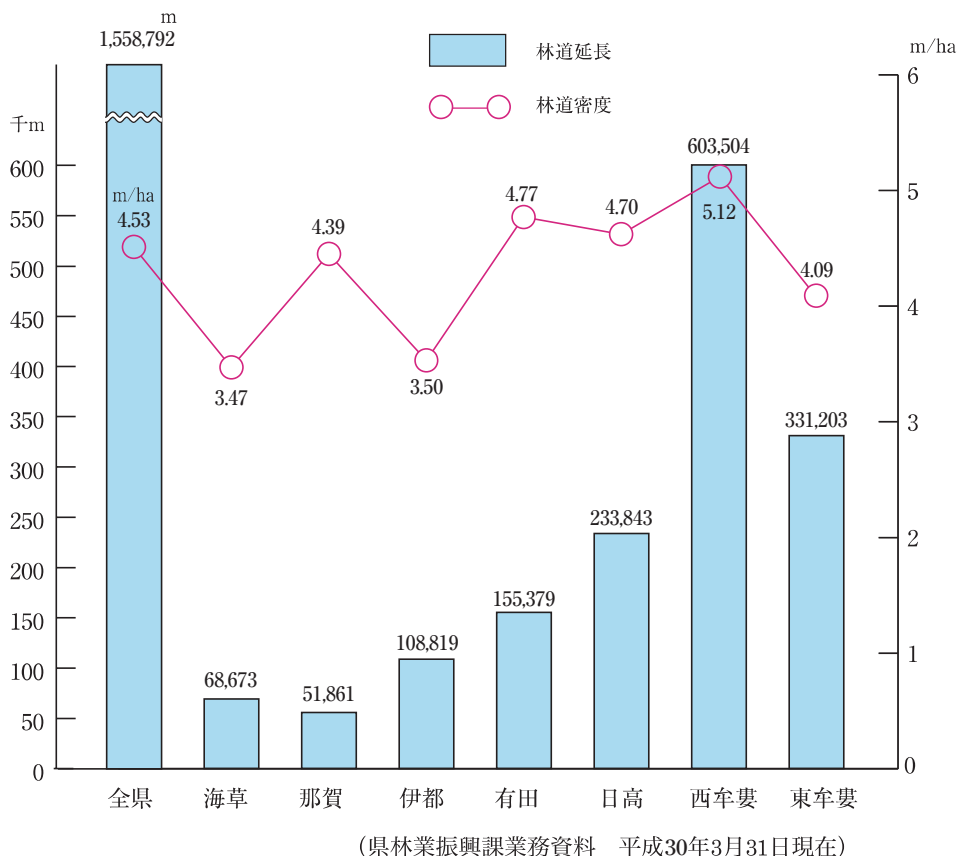
森林資源（私有林蓄積）の推移（地域森林計画対象森林：343,243ha）

戦後植林された森林資源が成熟しつつある。



地域別私有林林道延長及び林道密度（平30.3.31現在）

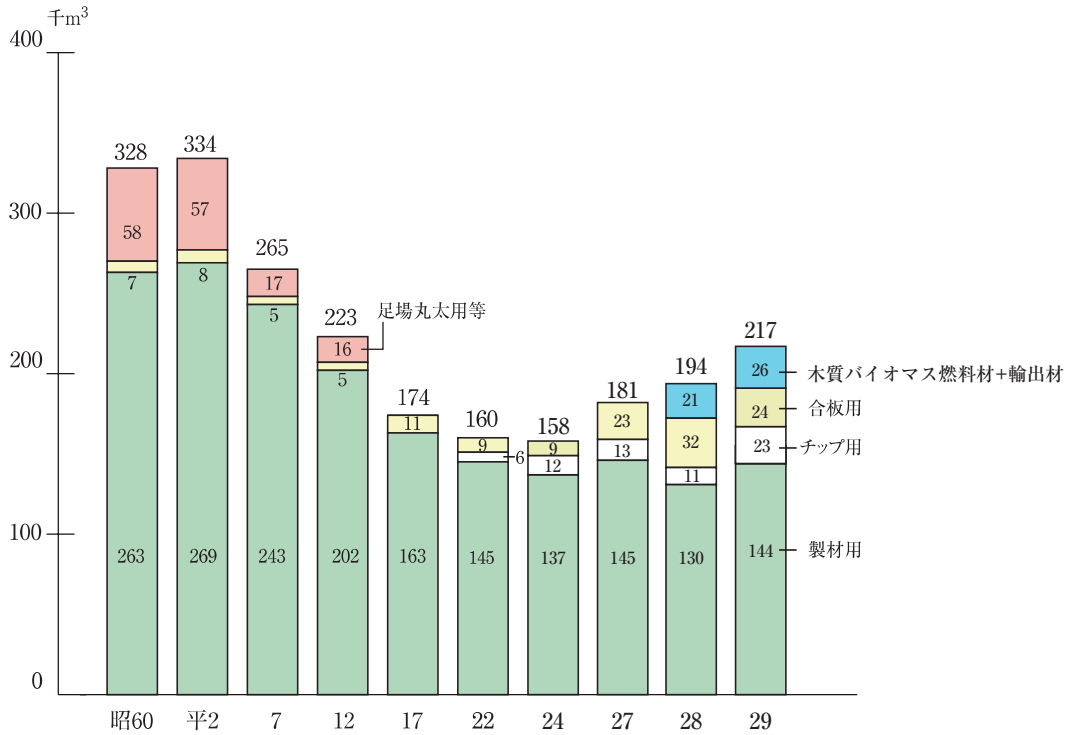
生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



3) 林業生産

近年の木材生産活動は木材価格の低迷等から停滞している。
 一方、最近では輸入製品価格の高騰などから、国産材の需要が高まりつつある。

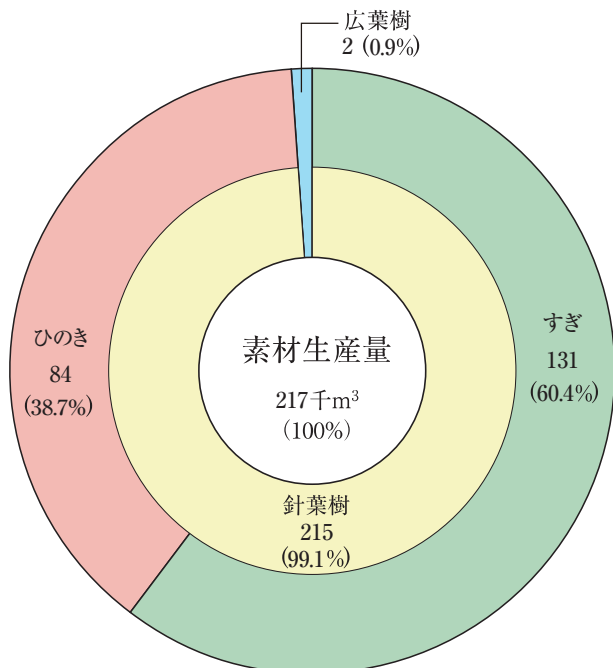
用途別素材生産量の推移



※H28から木質バイオマス燃料材+輸出材を集計に追加しました。

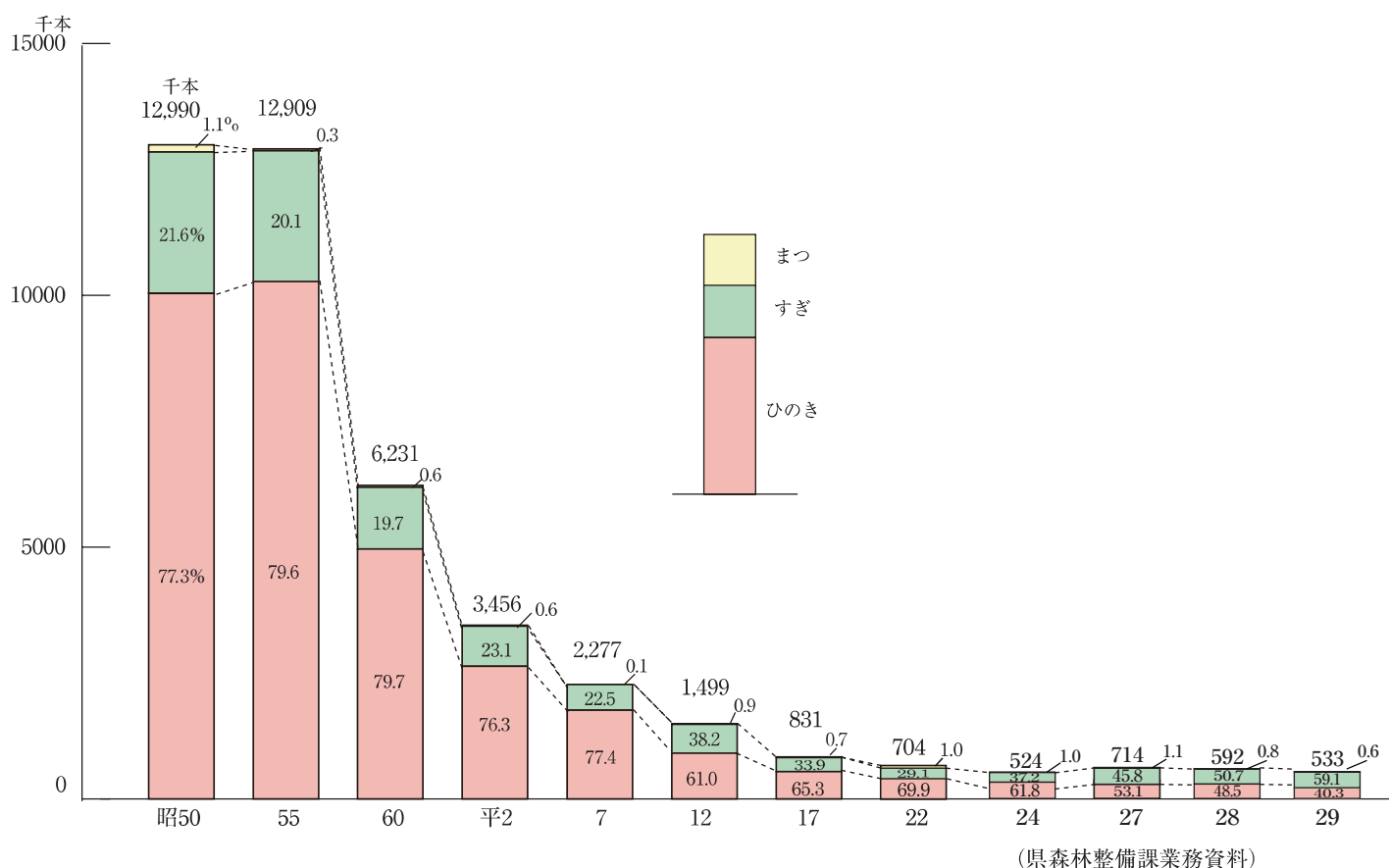
(木材需給報告書、木質バイオマスエネルギー利用動向調査、県林業振興課業務資料)

樹種別素材生産量 (平29)



(県林業振興課業務資料)

山用種苗生産本数の推移



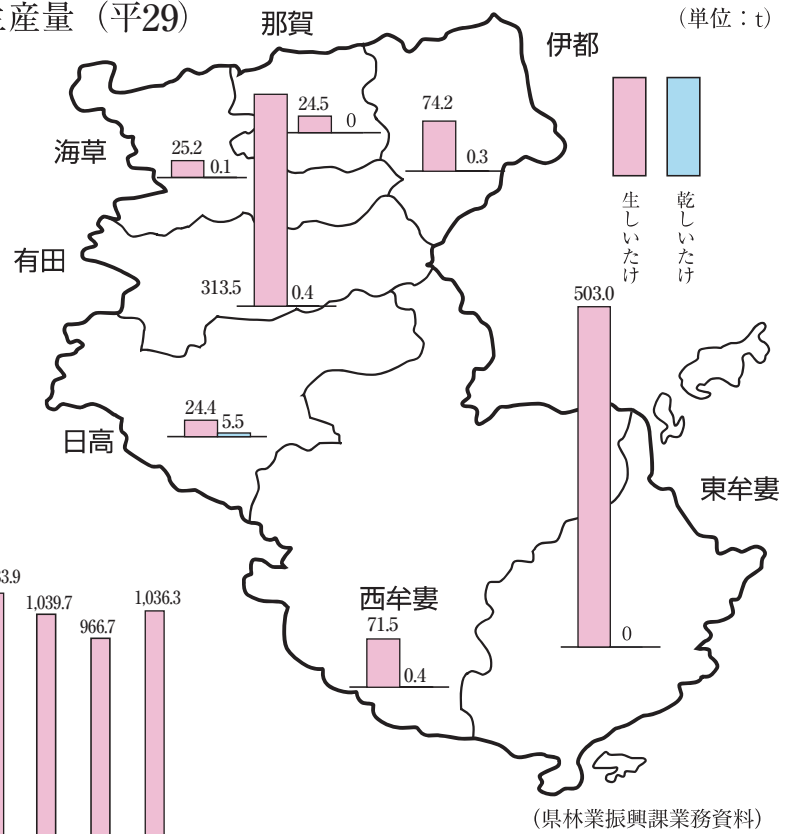
素材生産量

※木質バイオマス燃料材、輸出材を除く。

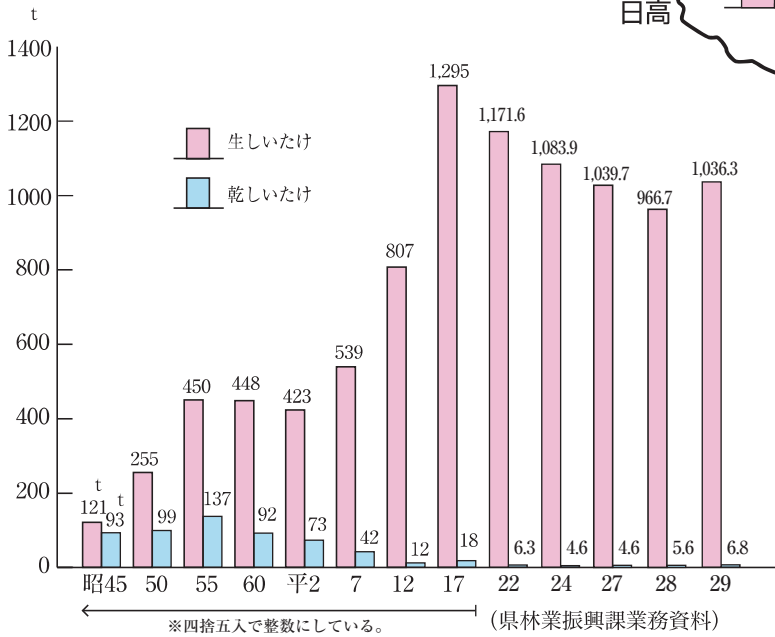
| [平29] | 全国 | 和歌山県 | | | 1位 | 2位 | 3位 | |
|-------|----------------------|--------|-----|--------|-----|-----|----|----|
| | 実数 | 実数 | 順位 | シェア(%) | 県名 | 県名 | 県名 | |
| 素材生産量 | 合計(千m ³) | 21,279 | 240 | 26 | 1.1 | 北海道 | 宮崎 | 岩手 |
| | 針葉樹 | 19,129 | 234 | 26 | 1.2 | 北海道 | 宮崎 | 岩手 |
| | すぎ | 12,147 | 137 | 23 | 1.1 | 宮崎 | 秋田 | 大分 |
| | ひのき | 2,762 | 97 | 11 | 3.5 | 愛媛 | 岡山 | 高知 |
| | 広葉樹 | 2,153 | 6 | 37 | 0.3 | 北海道 | 岩手 | 広島 |

(木材需給報告書)

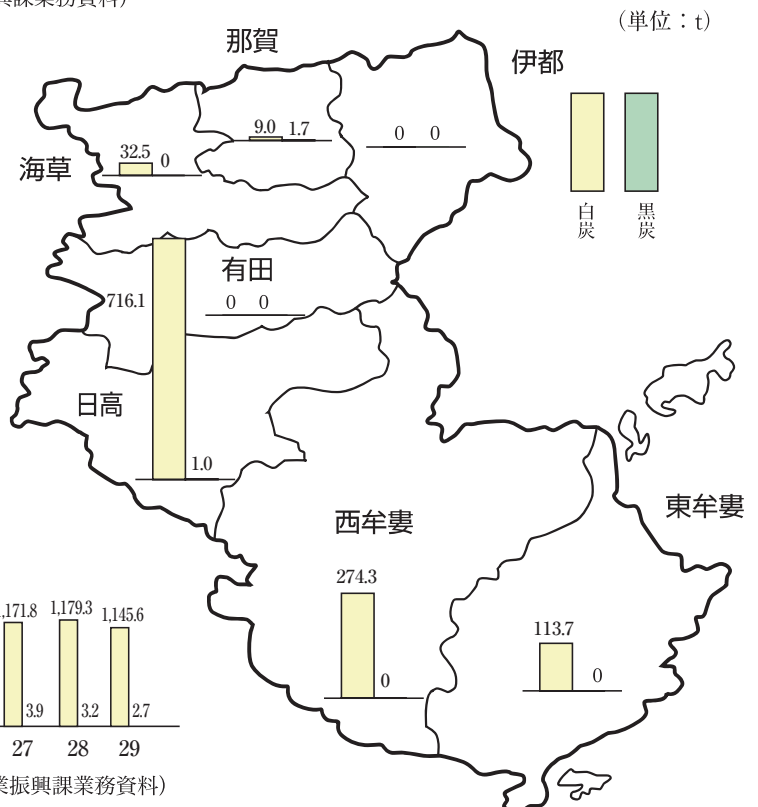
地域別・しいたけ生産量（平29）



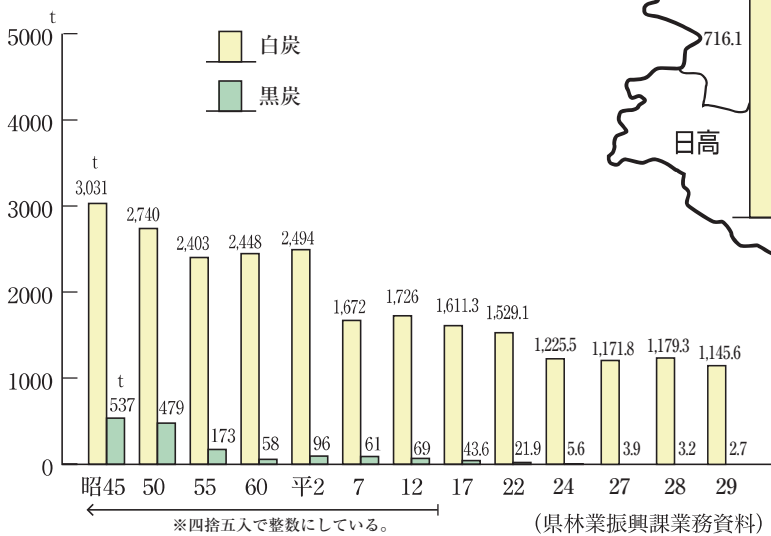
しいたけ生産量の推移



地域別・木炭生産量（平29）

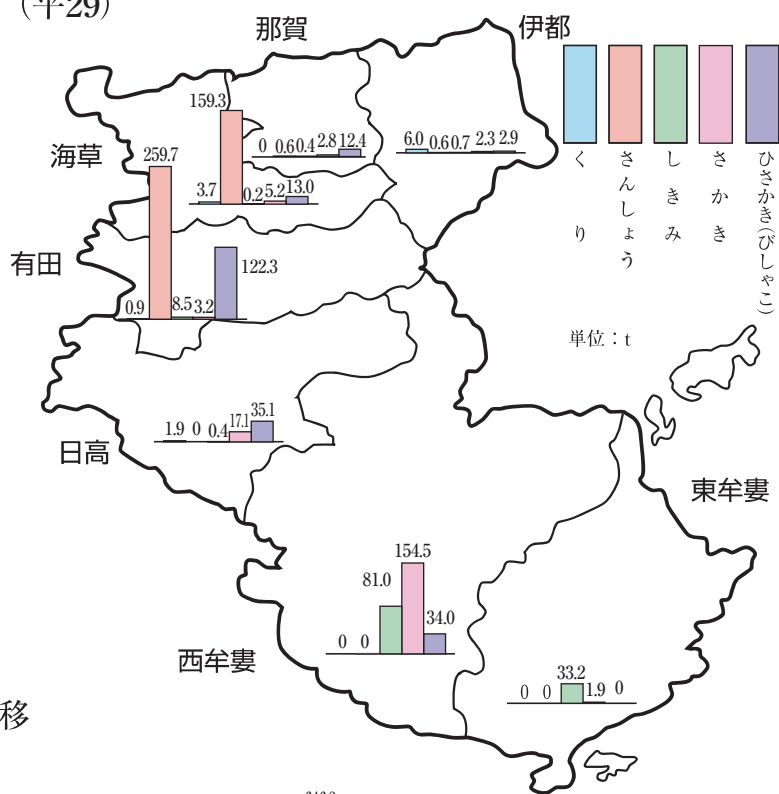


木炭生産量の推移

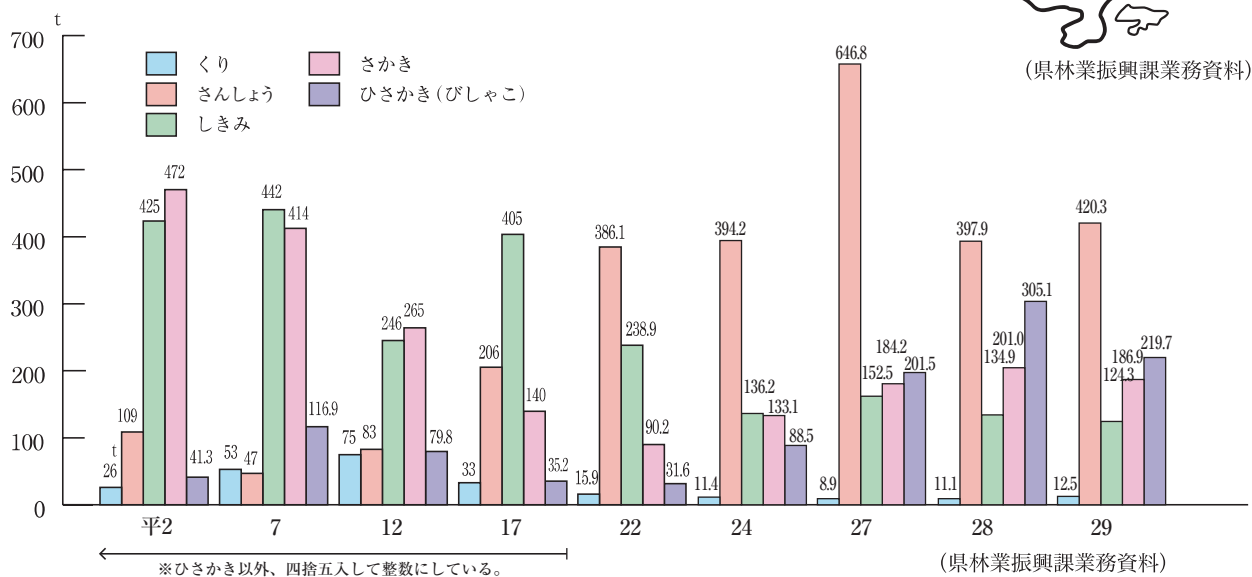


山村での主収入であった林業が低迷する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

地域別・その他特用林産物生産量（平29）



その他の特用林産物生産量の推移



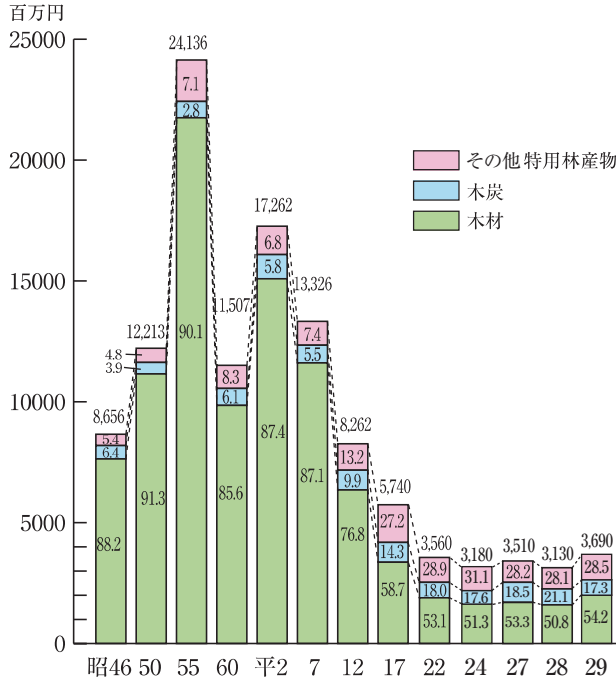
| 特 用 林 産 物 生 産 量 | | | | | | | |
|-----------------|----------|---------|-----|--------|-----|-------|-----|
| 〔平29〕 (t) | 全 国 | 和 歌 山 県 | | 1 位 | 2 位 | 3 位 | |
| | 実 数 | 実 数 | 順 位 | シェア(%) | 県名 | 県名 | 県名 |
| 乾しいたけ | 2,543.8 | 6.8 | 27 | 0.3 | 大 分 | 宮 崎 | 熊 本 |
| 生しいたけ | 69,638.7 | 1,036.3 | 22 | 1.5 | 徳 島 | 北 海 道 | 岩 手 |
| 白 炭 | 3,238.7 | 1,145.6 | 2 | 38.4 | 高 知 | 和 歌 山 | 宮 崎 |
| 黒 炭 | 6,363.1 | 2.7 | 44 | 0.04 | 岩 手 | 北 海 道 | 熊 本 |

(特用林産基礎資料)

4) 林業所得と林業産出額

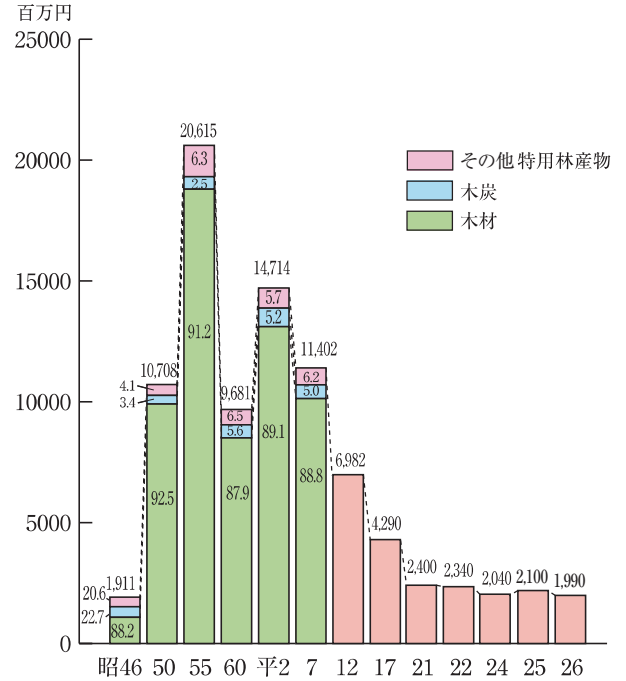
素材価格がピークであった昭和55年を契機に年々減少してきている。

林業産出額の推移



(生産林業所得統計報告書、林業産出額)

生産林業所得額の推移



(生産林業所得統計報告書)

※H10から内訳の計上がされていない
 ※H27以降のデータなし

※枠内の数字はパーセントを表す

生産額

| 〔平29〕 (千万円) | | 全国 | 和歌山県 | | 1位 | 2位 | 3位 | |
|----------------|-------|--------|------|----|--------|-----|-----|-----|
| | | 実数 | 実数 | 順位 | シェア(%) | 県名 | 県名 | 県名 |
| 林業 産出額 | 総計 | 45,181 | 369 | 30 | 0.8 | 長野 | 北海道 | 新潟 |
| | 木材生産 | 22,310 | 200 | 29 | 0.9 | 北海道 | 宮崎 | 岩手 |
| | 特用林産物 | 22,871 | 169 | 27 | 0.7 | 長野 | 新潟 | 北海道 |

(H29林業産出額)